



こみ行政
救急医療体制緊急改善プラン

長壁 眞樹
(無所属)



質問 ごみの総重量を減らすため生ごみの水切りに特化した事業が必要だが取り組みは。また、食品ロスをなくす取り組みは。

答弁 市では、生ごみの減量や堆肥化ができる生ごみ処理機の購入を推奨し、購入者に補助金を出している。さらに、市環境保健協議会が研究している水切りに効果的な機器を広報啓発していく。また、小・中学校等から排出される食品残渣は、民間事業者に委託し堆肥化している。

質問 高浜クリーンセンター建て替えに伴い本市で計画中の発電施設の発電量は。

答弁 新規施設では、自己設備の発電を計画している。発電量など詳細は、今後検討を行う。

質問 救急搬送には救急救命士の乗車が重要であるが、資格要件や認定救命士との違いは。

答弁 資格要件は、県消防学校の救急科を修了し救急業務に従事した後、養成所での研修、国家試験に合格の上、病院実習を実施することである。平成28年12月1日現在、救急救命士は87人である。また、認定救命士は、さらに厳しい試験や研修、実習を修了して認定され、心肺機能停止状態の傷病者に強心剤を投与する救命処置ができる薬剤投与認定救命士などがある。



ひと暮らし高齢者の生活支援
エンディングサポート

伊藤 敦博
(日本共産党)



質問 年金削減や保険料の値上げなど社会保障が切り崩される中、ひとり暮らし高齢者の人数や生活状況の現状は。

答弁 平成28年度のひとり暮らし高齢者基礎調査によると、本市のひとり暮らし高齢者数は1万3408人、そのうち何らかの支援が必要なのは1066人で年々増加傾向にある。

質問 身寄りがいない高齢者のために、エンディングサポート事業

質問 無料低額診療を実施する本市の医療機関と利用状況は。

答弁 榛名荘病院や高崎中央病院、はるな生協歯科診療所、通町診療所等実施している。平成27年度の患者数は1万6668人で、うち要保護者は4726人である。今後、高齢者あんしんセンターや民生委員・児童委員へ周知し、生活困窮者が適切に医療機関を受診できるよう情報発信していく。



群馬八幡駅のホーム段差解消
若年者へのピロリ検査

木暮 孝夫
(公明党)



質問 JR群馬八幡駅は、電車の乗降口とホームとの段差が30センチメートル以上あり、非常に危険である。1年前に改善を要望したが、現在の進捗状況は。

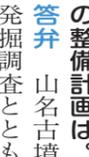
答弁 JRと協議を重ね、改善に向けた覚書を締結した。現在、JRにより段差改善工事に着手し、本年度末の完成に向けて工事を進めている。

質問 平成23年度から実施している20歳のピロリ検査は、受診

答弁 山名古墳群は、公有化し、発掘調査とともに駐車場や解説板を設置した。今後、上野三碑整備の進捗状況を見ながら、古墳群の整備実施時期を研究したい。また、正倉跡は、国指定に一体的な活用を図りたい。

質問 貴重な歴史遺産である山名古墳群や多胡郡正倉跡の今後の整備計画は。

質問 貴重な歴史遺産である山名古墳群や多胡郡正倉跡の今後の整備計画は。



上信電鉄及び沿線の遺跡整備
市博物館等の移動展示

中島 輝男
(市民クラブ)



質問 貴重な歴史遺産である山名古墳群や多胡郡正倉跡の今後の整備計画は。

答弁 公民館だより開催案内を掲載し、小学校や幼稚園などにチラシを配布した結果、2日間で467人が来場した。子どもや保護者、地域の方に貴重な体験の場を提供できたと考え、本市の収蔵品は埴輪や古文書など、もうい史料が多いため、移動展示には適していない。



段差が改善された下り線ホーム(群馬八幡駅)



地域包括ケアシステムの協議体
市立高崎特別支援学校

清水 明夫
(新風会)



質問 地域包括ケアシステムの協議体が設置された地域での活動事例は。

答弁 高齢者ニーズを把握するアンケート調査や社会資源を地図に落とし、地域の状況を把握する作業をしている。また、先行する協議体では、生活支援の担い手の養成を検討している。

質問 市立高崎特別支援学校の児童・生徒数や学級数の増加に伴う通学バスや教室の対応は。

答弁 9月補正でスクールバスを1台増便し、計3台で運行している。教室は、新年度に普通教室3室の不足が見込まれ、学習室2室を普通教室へ転用し、

質問 小・中学校における健康管理に関する概要は。

答弁 毎朝、健康観察を実施し、必要に応じ家庭へ連絡している。また、内科や歯科検診等のほか、本年度から背骨の変形などを調べる運動器検診を実施している。



小・中学校の健康管理
田角 悦恭

(新風会)



質問 朝食を取らない児童・生徒がいると耳にする。この実態をどう把握しているのか。

答弁 文部科学省が食事に関する全国調査を実施しており、平

質問 成27年度の本市の結果は、「朝食を毎日食べている」は、小学生で86・6%、中学2年生は84・2%であった。一方「食べない日もある」は11・4%と12・1%、「食べない日が多い」は1・6%と2・6%、「食べない」は0・4%と1・1%であった。国や県と比較すると、良好な状態と言える。

質問 この結果を受けた学校の対応・対策は。

質問 授業や給食指導等で食育に計画的に取り組んでいる。また、学校保健委員会で、食事が健康に及ぼす影響や生活習慣病予防などを学び合い、食事の大切さや健康意識の向上に努めている。さらに、一部の学校では、生活チェックカードを配布し、朝食や睡眠などの改善に家庭と連携し取り組んでいる。

答弁 授業や給食指導等で食育に計画的に取り組んでいる。また、学校保健委員会で、食事が健康に及ぼす影響や生活習慣病予防などを学び合い、食事の大切さや健康意識の向上に努めている。さらに、一部の学校では、生活チェックカードを配布し、朝食や睡眠などの改善に家庭と連携し取り組んでいる。

さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ(会議録検索)や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については2月中旬に公開予定です。



- ・市民情報センター (市役所1階)
- ・高崎市立図書館
- ・倉淵公民館図書室

市議会各会派構成
(平成29年1月1日現在)

◆新風会 (21人)	田中 治男	青柳 隆	田角 悦恭	白石 隆夫	松本 賢一	根岸 赴夫	追川 徳信	時田 裕之	柴田 正夫	柴田 和正	丸山 和久	柄沢 高男	後閑 賢二	石川 徹	寺口 優	後閑 太一	飯塚 邦広	渡邊 幹治	大竹 隆一	清水 明夫	後藤 彰	
◆市民クラブ (5人)	高橋美奈雄	林 恒徳	中島 輝男	木村 純章	堀口 順																	
◆公明党 (5人)	木暮 孝夫	丸山 寛	逆瀬川義久	新保 克佳	小野 聡子																	
◆日本共産党																						
◆高崎市議会議員団 (3人)																						
◆無所属	三島久美子	松本 基志	長壁 真樹	北嶋 菊好																		